

## 第2章 施設分類別の再編方針

### 1. 市民文化系施設

#### (1) 集会施設

市民の学習活動や趣味・生きがい活動、コミュニティの活性化のための活動拠点として、生涯学習センターや地区センター、コミュニティセンターなど21施設を設置しています。また、他の目的で設置した施設を、地域の集会所として活用している老人憩の家など6施設、すでに一定の役割を果たし普通財産に用途変更して地域団体に無償で貸し出している集会施設9施設、全体では36施設を設置しています。これらの施設について、施設の役割や機能の面から以下のように分類します。

#### 【施設の種類】

- i 地域（旧市町村）単位に設置する施設
- ii 地区単位に設置する施設
- iii 町内会・集落単位に設置する施設

#### i 地域（旧市町村）単位に設置する施設

#### ア 施設概要

市民の様々な学習活動の場や機会を提供するとともに、趣味や生きがいのための自主的な活動の場として、「湯沢生涯学習センター」など生涯学習センターを4施設設置しています。

また、勤労青少年がその能力を伸ばし、有為な職業人として成長するための施設として「湯沢勤労青少年ホーム」を、市民の自主的な活動の場、多様な世代間交流や学習・実践活動の場として「文化交流センター」を設置しています。

施設No.	施設名	所在地	地区	所管課
集1	湯沢生涯学習センター（湯沢公民館）	佐竹町4-5	湯沢	生涯学習課
集2	湯沢勤労青少年ホーム	佐竹町4-52	湯沢	
集3	稲川生涯学習センター （稲川農村環境改善センター・稲川公民館）	川連町字上平城120	川連	
集4	雄勝生涯学習センター（雄勝公民館）	横堀字白銀町49-1	横堀	
集5	皆瀬生涯学習センター（皆瀬公民館）	皆瀬字沢梨台106	皆瀬	
集6	文化交流センター	字沖鶴69-5	湯沢	

#### イ 現状と課題

施設No.	施設名称	建築年	法定耐用年数	経過年数	延床面積(m <sup>2</sup> )	運営形態	職員数	支出(千円)	収入(千円)	利用人数
集1	湯沢生涯学習センター （湯沢公民館）	S46	50	47	1,338	直営管理	正4, 非1	43,863	376	21,200
集2	湯沢勤労青少年ホーム	S43	50	51	1,115			5,502	345	17,400
集3	稲川生涯学習センター （稲川農村環境改善センター・稲川公民館）	S62	50	31	1,117		正3, 非2	9,030	255	11,900
集4	雄勝生涯学習センター （雄勝公民館）	H8	50	23	45		正1, 再1, 非1	—	—	—
集5	皆瀬生涯学習センター （皆瀬公民館）	S51	38	42	673		正1, 再1, 非2	10,562	372	2,600
集6	文化交流センター	S61	50	33	2,161		非2	20,235	2,425	35,800

※文化交流センターの職員数は、R2.4.1現在

## 集1 湯沢生涯学習センター（湯沢公民館）

鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積1,338㎡。昭和46年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、建築から47年経過し老朽化が進んでいます。土石流・急傾斜警戒区域に含まれています。

開館日・開館時間は、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）を除く毎日、8時30分から22時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は43,863千円となっています。施設の利用料及び暖房費として376千円の収入があります。

施設は、第1～第5集会室、寿の間、調理実習室等で構成し、湯沢市民大学や生き生き体験学級などの事業のほか、市民団体の自主的な活動で使用され、年間約21,200人が利用しています。また、施設の一部を湯沢市役所職員労働組合に事務室として提供しています（有償）。利用状況は次のとおりです。

### 【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
第1集会室	40	第4集会室	37	寿の間	46
第2集会室	33	第5集会室	16	調理実習室	24
第3集会室	23				

## 集2 湯沢勤労青少年ホーム

鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積1,115㎡。昭和43年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、建築から51年経過し老朽化が進んでいます。土石流・急傾斜警戒区域に含まれています。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、8時30分から22時までで、管理運営は併設する湯沢生涯学習センターが一括して行い、人件費を含む管理運営費は5,502千円となっています。施設の利用料及び暖房費として345千円の収入があります。

施設は、スポーツ室、講話室、講習室、陶芸室等で構成し、勤労青少年を対象とした講座等の実施はなく、市民団体等の自主的な活動に使用され、年間約17,400人が利用しています。また、施設の一部を湯沢地区保護司会に事務室として提供しています（無償）。利用状況は次のとおりです。

### 【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
スポーツ室	42	講話室	22	講師控室	28
講習室	30	陶芸室	17	娯楽室	29

## 集3 稲川生涯学習センター（稲川農村環境改善センター・稲川公民館）

鉄筋コンクリート造平屋・一部2階建て、延床面積1,117㎡。昭和62年に新耐震基準で建設し、建築から31年経過し老朽化が進んでいます。

開館日・開館時間は、年末年始と火曜日を除く毎日、8時30分から21時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は9,030千円となっています。施設の利用料及び暖房費として255千円の収入があります。

施設は、会議室、視聴覚研修室、創制作活動室、サークル室、多目的ホールで構成し、チャレンジ事業や書初め大会などのほか、市民団体の自主的な活動で使用され、年間約11,900人が

利用しています。利用状況は次のとおりです。

**【利用状況】**

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
会議室	9	創制作活動室	9	多目的ホール	40
視聴覚研修室	13	サークル室	10		

**集 4 雄勝生涯学習センター（雄勝公民館）**

雄勝生涯学習センター（雄勝公民館）は、雄勝文化会館の1階の会議室を事務室として使用しており、各種講座教室など生涯学習センター主催の事業は地元NPOに委託し、別の施設で実施しています。専用延床面積45㎡（施設の構造等は雄勝文化会館を参照）。

執務時間は、年末年始と土・日曜日、祝日を除く毎日、8時30分から17時15分までで、管理運営費は雄勝文化会館の費用に含まれています。

**集 5 皆瀬生涯学習センター（皆瀬公民館）**

昭和60年まで「湯沢北高等学校定時制皆瀬分校校舎」として使用していた施設を同分校の廃校に伴い昭和61年から同センターとして使用しているもので、鉄骨造2階建て、延床面積673㎡。昭和51年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、建築から42年経過し老朽化が進んでいます。

開館日・開館時間は、年末年始と土・日曜日、祝日を除く毎日、月・水・金曜日は8時30分から22時まで、火曜・木曜日は8時30分から17時15分までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は10,562千円となっています。施設の使用料及び冷暖房料として372千円の収入があります。

施設は、研修室、図書室、会議室、視聴覚室、調理室で構成し、児童書道教室や図書事業（図書の貸出）、公民館利用の芸術文化団体等の作品展示を実施しているほか、総合型地域スポーツクラブや市民団体が使用し、年間約2,600人が利用しています。利用状況は次のとおりです。

**【利用状況】**

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
研修室	20	視聴覚室	5
会議室	8	調理室	5

**集 6 文化交流センター**

鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建て・一部2階建て、付属施設を含む延床面積2,161㎡。秋田県が昭和61年に新耐震基準で建設し、平成22年に湯沢雄勝広域市町村圏組合に譲渡された後、令和2年4月1日に市に移管され、建築から33年経過しています。平成23年・27年に多目的ホールの冷房設備改修工事と排煙窓改修工事を、また、平成24年に屋根改修工事を行っています。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、8時30分から22時までで、移管されるまでの管理運営は組合直営で行い、人件費を含む管理運営費は20,235千円、施設の使用料など2,425千円の収入があります。

施設は、多目的ホール、第1研修室、第2研修室、調理室、展示交流ホールで構成し、市民団体の自主的な活動で使用され、年間約35,800人が利用しています。利用状況は次のとおりです。

## 【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
多目的ホール	63	第2研修室	36	展示交流ホール	5 (占有時)
第1研修室	56	調理室	9		

## 【現状と課題のまとめ】

行政需要が複雑・多岐に亘るとともに、よりきめ細かな対応が求められる中で、市民力・地域力を活かし、行政と市民・地域が協働で様々な行政課題を解決していく「地域経営」の仕組みづくりが必要とされています。

地域課題の解決の取組には、様々な制度を学習するとともに、実践活動を行うためのノウハウが不可欠であり、生涯学習センター・公民館には、趣味や生きがい活動の場、様々な学習活動の場に加え、地域の活動拠点として機能していくことが新たな役割として求められています。

これまでの長年に亘る活動を通じて多くの人材を輩出し、自主的なサークル・団体の育成に取り組んできました。こうした人材や自主グループを人材登録して、地域の自主的な課題解決の取組を支援していくことも期待されます。

## ウ 今後の方針とスケジュール

公共施設等総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。(分析・評価結果は資料編を参照)。

### 【基本的な考え方】

- 生涯学習センターは市民の学習活動や趣味・生きがいなどの活動拠点として、また、地域課題を解決するために必要な情報や知識を収集・学習する拠点として継続します。
- 管理運営について、当面、現行どおり市の直営管理としますが、地域経営の中核的な役割を担うことから、行政と市民等との役割を明確にしたうえで、市民等による講座等の企画・立案のあり方について検討します。
- 集会施設の再編を地域の理解と協力のもと円滑に進めるため、地域課題の解決に、地域が自主的に取り組む「地域経営の仕組みづくり」を別途検討します。
- 施設の使用料について、受益者負担の適正化の観点から、減額・免除規定の見直しを含め検討します。

### 【個別施設ごとの対応方針】

#### 集1 湯沢生涯学習センター（湯沢公民館）

- 昭和46年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、老朽化が進んでいること、また、土石流・急傾斜警戒区域に含まれていることから当該施設は廃止するとともに、他の公共施設との複合化を図り、湯沢駅周辺の公共用地に移転・新築します。
- 整備にあたっては、中心市街地活性化や市民サービス向上等の観点から、民間活力導入の可能性を含めて、整備手法、管理運営手法を検討します。

#### 集2 湯沢勤労青少年ホーム

- 昭和43年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、老朽化が進んでいること、また、土石流・急傾斜警戒区域に含まれていること、施設を設置した当初の目的とは異なった利用実態

となっていることから、必要な機能については新たに建設する湯沢生涯学習センターで担うことにし、当該施設は廃止します。

### 集 3 稲川生涯学習センター（稲川農村環境改善センター・稲川公民館）

- 昭和62年に新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 農村環境改善センター機能は、利用実態に照らし、転用手続きについて関係機関と調整します。

### 集 4 雄勝生涯学習センター（雄勝公民館）

- 雄勝生涯学習センターは、雄勝文化会館内に事務室機能を配置していることから、生涯学習センターとしての機能のあり方について検討します。

### 集 5 皆瀬生涯学習センター（皆瀬公民館）

- 昭和51年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、老朽化が進んでいることから、皆瀬庁舎の建替にあわせ移転・複合化を図り、現施設は廃止・解体します。

### 集 6 文化交流センター

- 昭和61年に新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 広域圏事務局が事務室として使用していた空きスペースを活用し、基準面積を確保できていなかった倉内団地児童クラブさくらっ子を当面の措置として設置するとともに、老朽化が著しい老人福祉センターに入居していた老人クラブ連合会に事務室兼会議室を、声のボランティアグループに活動室（録音室）を提供します。

また、貸館・交流機能を維持しつつ、行政課題解決のための施策の展開や地域課題を解決するための活動拠点として、複合化・多機能化を進め、多様な世代間交流や学習・実践活動の機能強化を図ります。

- 湯沢文化会館との機能連携や一体化を進め、両施設の利用がさらに活発化し、有効活用していくための展開を、管理運営のあり方を含め検討します。

### 【年度別スケジュール】

施設名	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 ~ 2030年度 (R7) (R12)
生涯学習センター 【共通事項】	→		-----	-----	-----	-----→
	地域経営の仕組みづくりに合わせ、施設の管理運営のあり方の検討			検討結果に基づき、順次、新体制に移行		
	→		-----	-----	-----	-----→
	受益者負担の適正化の検討			検討結果に基づく対応		
稲川生涯学習センター（稲川農村環境改善センター・稲川公民館） 文化交流センター	→		-----	-----	-----	-----→
	予防保全計画の策定			計画に基づく対応		

施設名	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度～2030年度 (R7)～(R12)
湯沢生涯学習センター (湯沢公民館)	事業手法等の検討			検討結果に基づく対応		
	施設・機能のあり方検討		反映	新施設での事業運営計画の作成		● 移転・複合化
湯沢勤労青少年ホーム						● 廃止
稲川生涯学習センター (稲川農村環境改善センター・稲川公民館)	農村環境改善センターの 用途廃止協議			協議結果に基づく対応		
雄勝生涯学習センター (雄勝公民館)	生涯学習センター機能の あり方検討			検討結果に基づく対応		
皆瀬生涯学習センター (皆瀬公民館)	施設・機能のあり方検討、移転・複合化			● 供用開始		
文化交流センター	● 移管	管理運営手法の検討			検討結果に基づく対応	

## エ 概算事業費と効果額

単位：千円

施設 No.	施設名称	今後の 方向性		更新費用の試算（40年間：令和2～41年度）						維持管理費	
				現状維持した場合			本計画を実施した場合			単年度の比較	
		建物	長寿 命化	大規模改修	建替	合計	長寿命化等 大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施
集1	湯沢生涯学習センター (湯沢公民館)	複合化	●	334,413	535,060	869,473	167,206	535,060	702,266	45,178	45,178
集2	湯沢勤労青少年ホーム	廃止		557,500	446,000	1,003,500	0	0	0	5,502	0
集3	稲川生涯学習センター (稲川農村環境改善センター・稲川公民館)	継続	●	279,280	446,848	726,128	418,920	0	418,920	9,030	9,030
集4	雄勝生涯学習センター (雄勝公民館)	継続		0	0	0	0	0	0	0	0
集5	皆瀬生涯学習センター (皆瀬公民館)	複合化	●	168,300	269,280	437,580	84,150	269,280	353,430	10,562	10,562
集6	文化交流センター	継続	●	540,250	864,400	1,404,650	810,375	0	810,375	20,235	20,235
概算事業費（合計）				1,879,743	2,561,588	① 4,441,331	1,480,651	804,340	② 2,284,991	③ 90,507	④ 85,005

更新費用の試算比較 ②－①	単年度の維持管理費の比較 ④－③
△ 2,156,339 千円	△ 5,502 千円

※ 更新費用は、本計画策定年度の令和2年度から起算して40年間に必要となる大規模改修費用及び建替費用の試算額です。

大規模改修費用：25万円/m<sup>2</sup>、更新（建替）費用：40万円/m<sup>2</sup>（総務省が提供する単価）

※ 維持管理費は、直近（平成30年度）の施設維持管理に係る年間の支出額です。

※ 端数処理の関係上、合計と一致しない場合があります。

※ 雄勝生涯学習センターの更新費用は、雄勝文化会館（文2）に一括計上しています。